

令和3年度第1回学校評議員会報告

1 日 時：令和3年5月17日（月）15：30～16：30

2 場 所：本校会議室

3 出席者：学校評議員5名、本校職員5名（校長、副校長、事務長、総務主任、総務担当） 計9名

4 次 第：（1）開会 （2）校長挨拶 （3）自己紹介 （4）学校概況説明 （5）令和3年度学校経営計画について （6）質疑・意見交換 （7）その他 （8）閉会

5 内 容：

【校長挨拶】

平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。今年度の新入生は、定員の過半数を上回っている。部活動においては野球部が連合チームで活躍した。また、女子卓球部は新たに2名が入部し合計3名で活動しており、東北大会、北信越インターハイへの出場が期待される。少子化やコロナ禍等、学校を取り巻く課題は多い。しかし、今年度も教育の質を落とすことなく、生徒の進路実現と学校生活の充実のために地域の皆様のお力添えを賜りながら職員と生徒が一丸となって取り組む。本日は貴重なご提言を賜りたい。

【学校概況説明】 副校長より口頭説明

【学校経営計画】 資料により校長より説明

【質疑・意見交換】

A 氏：教員定数が3名減少した理由を教えてください。

副校長：各学年1学級が完成したためである。加えて、会計年度任用職員1名の配置が無くなったためである。

B 氏：商業・情報科目のみ臨時免許状を発給しているのか。

副校長：その通りである。就職希望者向けに資格取得の力をつけるための授業を保障するためだ。

B 氏：洋野町振興協議会からの予算について教えてください。

事務長：昨年度より入学支度金として生徒1名につき5万円が支給される制度が新たに追加された。

A 氏：支度金は継続、拡大していくことが望まれると考えている。

副校長：北いわて地域策定事業は、地域住民に周知されているのか。

C 氏：周知されている。実動はこれからである。

副校長：コロナ対策についてご意見を頂戴したい。

D 氏：自身の職場（小学校）においては基本的な対策を徹底することに加えて、接触がある場面では手袋を装着した上で活動している。

E 氏：探究コーディネーターの支援について教えて欲しい。

副校長：探究活動は、地域の課題点を生徒自身が探し考えて、発表を経るなどしながら実際に行動に移すことがねらいである。探究コーディネーターはこれらの活動の支援をする役割である。

C 氏：コロナ禍においてオンラインや情報機器活用の必要性が高まっているが、高校ではどうなっているか。

副校長：生徒一人ひとりがアカウントを持ち、学校からの連絡や課題指示が受けられるように準備を進めている。

B 氏：生徒在籍数が減少すると団体行動を不得手とする生徒が増える。近隣の高校との関わりはあるのか。

副校長：部活動において合同チームを組んでいる。

B 氏：高校卒業後に社会に出るために、様々な人との関わりが持てるようにして欲しいと考える。

D 氏：オンラインや情報機器を用いて近隣の高校と関わりを持つことは生徒の興味を喚起し、積極的な活動につながるのではないかと。

A 氏：地域学習の成果発表を中学生が聞くことも良いと考える。

E 氏：中学校・高校で地域のことを学んでいるが、地元への就職に結びついていないと考えている。

副校長：地元以外へ就職しても、学んだ経験を生かし、長い目で見て地域に還元できる人材を育てたい。